

平成29年2月21日

## 平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	設楽町
連絡先	部署名	企画ダム対策課
	担当者役職・氏名	主査 加藤志歩
	電話番号	0536-62-0514
	FAX番号	0536-62-1675
	メールアドレス	kikaku@town.shitara.lg.jp

## ○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：設楽ダム関連事業における道路改良を活かした町内移動手段の再編と過疎地域における移動手段の確保

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

## ◆交通不便対策・高齢者対策

当町は、愛知県の北東部に位置し平成17年に設楽町と津具村が合併し県内でも5番目に大きな面積を有する自治体となった。しかしながら、町内の集落は小規模で高齢化（高齢化率は46%を超える）しているため、住民の移動手段が限られている現状にある。

町では、平成21年に北設楽郡公共交通活性化協議会を設置し、バスを基軸にタクシー事業者と連携した市町村福祉輸送や過疎地有償運送（設楽町が個別輸送を確保するために行っている事業費H28 予算約900万円）などを組み合わせた「おでかけ北設交通システム」を創り移動手段の確保を行っているが、予算に限りもあることから運行本数が極めて少なく気軽なおでかけ手段の確保ができていない状況である。

そこで、本年度の実証実験を通じて得た経験と実績をもとに、今回の自動走行の実

証実験で更なる経験を積みあげて、将来の町内の具体的かつ有力な移動手段として実用化を検討していきたい。

◆観光客誘致対策と道路改良に基づく地域間ネットワークの再構築

当町では、東三河地域の悲願である大きな国家プロジェクト「設楽ダム建設事業及び関連事業」が町内で動きはじめ、道路改良が進み、町内に点在する拠点集落と設楽町の中心地である田口地区へのアクセスが大幅に改善されることにより、住民の生活行動の変化が期待できる。このことは、これまで各地域に整備が必要であった公共施設の統廃合を可能とし、行政課題である公共施設の点在化による財政負担の軽減に繋がると期待しているし、併せて各拠点と中心地が自動走行車により結ばれることで、経費を圧縮すると同時に必要な施設整備をすすめ、持続可能なまちを目指すことができるようになる。

併せて、当町は設楽ダムを観光資源として捉え、周辺の整備を計画していることから、今回の自動走行における実証実験はダム湖を周遊する移動手段の確保に繋がると期待している。

- (2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

本年度中に策定される設楽町総合計画において、施策の方向性として、交通環境の整備が明記される予定であり、また、当町は前述の北設楽郡公共交通活性化協議会の事務局を担っており、活発な活動を続けているため、交通事業者との連携が取りやすい立場にある。

（スペースは適宜広げて記載してください）

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

1 ルート（起点→終点）

起点 設楽町役場 → 終点 特別養護老人ホーム宝泉寮

2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

- ① 終点には、役場、金融機関、診療所など設楽町の拠点となっている。
- ② 交通量は少ない
- ③ 走行ルートの一部をおでかけ北設バス「東栄設楽線」（設楽町、東栄町が運行＝全額委託）、予約バス、全域を市町村福祉輸送（町が実施）により移動手段の確保を図っている。

→権利関係ははっきりしている。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約5キロ
車線数	片側1車線以上（中央分離帯あり）
道路構造	歩車分離区間あり、勾配あり
道路種別	国道257号線、国道420号線、県道433号線
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	人通りはほとんどない。交通量も多くない。
交差点	右左折する四差路1か所、三差路2か所
起点・終点	起点：設楽町役場駐車場 終点：特別養護老人ホーム宝泉寮 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	平成28年度実証実験地

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

（1）道路の様子（主要地点数カ所）



四差路「役場前」付近



国道 473 号線



国道 473 号線から県道入口

（2）起点、終点場所（駅、公共施設等）



起点 設楽町役場



終点 特別養護老人ホーム宝泉寮

（3）車両待機場所（起点・終点場所と異なる場合）

待機場所は起点と同じ

6 高精度 3D マップの有無

（平成 29 年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、そのルートも記載してください。）

無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成 29 年度の予定・予算措置状況等）

平成28年度実証実験地

8 その他参考資料（ある場合は添付）